

久万高原町
議会だより

第2号

2014年
8月

38回親子夕涼み



二名親子夕涼み大会

主な内容

平成26年6月定例議会 …2	総務文教厚生常任委員会…10～11
一般質問 ……………4～7	議会審議の流れ ……………12～13
産業建設常任委員会…8～9	

平成26年

6月定例議会

6月16日から20日までの5日間開催し、平成25年度一般会計補正予算の専決処分1件、特別会計補正予算の専決処分2件、平成26年度一般会計補正予算1件、特別事業会計補正予算2件、条例の改正に関する専決処分2件、条例の制定1件、条例の改正2件、平成26年度一般会計補正予算の専決処分1件、不動産の取得1件を可決。教育委員の任命について1件を同意、工事変更請負の締結に関する専決処分1件、平成25年度一般会計繰越明許費計算書等繰越報告3件、土地開発公社、農業公社、(株)みかわ、一般財団法人柳谷産業開発公社の経営状況報告4件、議会議員の定数に関する特別委員会審査結果の報告を受け、請願書1件を不採決、意見書4件を可決した。又、人権擁護委員の候補者の推薦が1件あり適任を答申した。

■ 平成26年6月補正後予算額

総 額	147億5982万円	(1億7750万2千円増)
一般会計	88億429万8千円	(1億8117万3千円増)
特別会計	46億2771万2千円	(367万1千円減)
企業会計	13億2781万2千円	(増減なし)

■ 平成26年6月の主な補正

歳入	繰入金	5589万円 (財政調整基金より)
	繰越金	4211万円 (前年度繰越金増額)
歳出	電算システム委託業者変更に伴う費用	6322万円 (増)
	社会福祉協議会移転に伴う費用	269万円 (増)
	高齢者配食サービス拡大に伴う費用	260万円 (増)
	棚田地区保全整備事業	650万円 (増)
	道路、排水路修繕、改修事業	600万円 (増)
	林道改修	600万円 (増)
	子供の成長応援基金の積立	5160万円 (増)
	災害復旧費	881万円 (増)

次回一般選挙から全町一区

定数はそのまま

議員定数等に関する特別委員会において、次回の一般選挙から定数14、選挙区を現行の4小選挙区から全町1区とする事と決定し、6月定例議会において中川武志委員長が報告した。

委員会では、現行小選挙区制の継続、旧久万町と川下三ヶ村の2区制、全町1区という意見が出され最終的に全町1区を採択した。

また、定数に関して現状14か定数減の意見がされたが議会活動の現状にかんがみて14は必要であると判断した。昨年議会の報告会においても各会場で町民の皆様の関心の高い問題であったことを受けて当特別委員会を設置し今回の決定となった。

現在の選挙区と定数

- 久万選挙区 定数9
- 美川選挙区 定数3
- 面河選挙区 定数1
- 柳谷選挙区 定数1

次回一般選挙からの選挙区と定数

全町1区
定数 14

請願とは…

請願権は国民の基本的権利の一つであり議会に受理権が認められている。請願書の提出には議員の紹介がなければならない。

議会に受理権をみとめたのは、請願を通して住民の意思を反映させ、議会の意思によって住民の願望である請願の趣旨の実現に努めさせるためである。

要支援者に対する給付を地域支援事業者に移行せず、今までどおり介護予防給付として行うよう国へ要望する事を求めて「要支援者を介護給付からはずすことに反対することを求める請願」が提出された。総務文教厚生常任委員会に付託され審議した結果、委員会では不採択を決定し本会議でも不採択とした。

不採択の理由は、国会で審議中であった案件でもあり当議会での対応は難しいと判断したため。

請願を不採択

一般質問

問 遊歩道で町の活性化を。

答 今後の検討課題としたい。
高野町長



山之内敏秋議員

問 久万高原町には、四国の道などの自然歩道、石鎚山や四国カルスト、皿ヶ嶺などのトレッキング道、土佐街道などの歩道等たくさん遊歩道がある。これら多くの道は、十分な管理ができているとは思われないが、町としての取組はどうか伺いたい。

答 現在、自然志向で、健康志向のランなどによって、登山やトレイルは、農山村の四季や、いにしえの人々の生活に触れることのできる歩道、

小道が多数あり、地域住民の方々やボランティアの皆さん方の支えによって、保全されている箇所もたくさんあり感謝している。

現に公共的用途に使用されているものについては、法定外公共物として、市町村や地元利用者が管理することとなっている。赤線道とか、農道などの法定的な公共物は、当然地元の町がそれぞれに管理している。

昨年は、町では面河溪から石鎚山へ通じる登山道の修復を行っているボランティア団体へ、材料費等の助成を行い又、関門歩道橋の落石対策工事を行った。一方では、四国カルストの遊歩道、四国の道の除草作業を実施している。

歴史的な資産である土佐街道については、数年前に地元の久万高原遊山会に依頼をして、ルートの特定や歴史の変遷、標石等の調査を行い、あわせて新任教職員の皆様に歩いてもらった。

遍路道については、現在、世界遺産登録に向けた取り組みが展開されており、町としても可能なことについては、積極的にかかわりながら支援を行っていき、ボランティアの皆様のご協力を得ながら、重要な自然歩道等の適正な管理に努めるとともに、郷土の歴史を学びながら、土佐街道や遍路道に対する町民の関心を

高め、沿線の除草作業など、管理にもご協力をいただきたい。

高野町長



古岩屋四国の道

問 四国八十八カ所霊場と、遍路道を世界遺産に登録する部会に、

久万高原町も構成員となっている。

町も私たち住民も一緒になって、協力していきたいと思っている。

トレッキングコースの中で、九州オルレというのがある。オルレとは、韓国済州島から始まったトレッキングコースの総称で、意味は、通りから家に通じる狭い路地と言う方言だそう、気軽に海岸や山などを、自分のペースでゆっくり楽しむことだそう。

九州オルレは、済州オルレの姉妹版として、3年間で10箇所整備され、多くの外国人、特に韓国の客をター

ゲットに誘致を進めているようなので。町の活性化として、調査してはどうか。

答 トレッキングコース、非常に、今、はやりかなと思いますし、皆さん方が気軽に、例えば石鎚山にどんどんあがるとかいうんじゃなくて、いろいろな観光地を1日かけて、ゆっくりと、健康志向ということでのコースは、久万高原町には、数多くある。

歩道もきちんと整備もしておりますし、前向きでいろいろな問題に取り組んでいかなければいけないと思う。

高野町長



古岩屋四国の道

問 農業振興対策はどうか。

答 生産基盤整備・農業公社の強化。

高野町長



上岡 正文議員

問 本町の基幹産業である農業において、経営者の高齢化、また農業人口の減少等、農業の衰退が懸念される。こうした中、農業振興対策について質問する。

一、地域農業の活性化には産地の維持と、農業経営の安定化対策が重要と思う。生産の維持拡大等、行政としての取り組みについて伺いたい。

答 久万高原町は高齢化、少子化が特に進んでおり、農業を活性化することは非常に難しい対策の一つである。

県農業指導班、また農協等と連携して、高原野菜の産地の維持、拡大の為に、町単独の産地支援事業を

行っている。

農家経営安定化の取り組みとしては、農業近代化資金への利子補給等行っている。また中山間直接支払制度や、鳥獣被害防止対策事業を積極的に進めている。

高原野菜、清流米の産地の維持拡大を図るためには、生産基盤の整備や栽培技術の確立、そして生産から販売までの対策が重要であり、今後とも関係機関の連携を図り、地域農業の活性化に努めてまいりたい。

高野町長

問 二、本年度より公益社団法人として久万高原農業公社が発足した。今後の農業公社運営について町としての対応と、公社を活用した地域農業振興対策について伺いたい。

答 農業公社については、公社検討専門委員会にて、今後の方向性を検討してきた。その中で新規就農担い手育成事業、農地利用集積円滑化事業、農業機械・施設の貸付事業など、都市と農村との交流の地域活性化事業に取り組んできた経緯を鑑み、今後もこれらの事業継続と人材を派遣するとの答申もあり、町として積極的に取り組んでいきたい。公益社団法人として、担い手育成

の公益部門と他の収益部門とのバランスを取りながら、農業振興の重要部門と位置づけ、積極的に運営努力したい。

また今年度は農業公園を中心とした『かかしの里づくり』事業や道の駅『さんさん』の生産者への苗の提供事業等予定している。

高野町長

問 町の主要農産物である清流米、トマト、ピーマン等の品目について、経営を安定化させ維持していくことにより、農業後継者の確保や新規就農者の確保につながっていくと思う。今後とも農家支援を願いたい。

農業公社は各関係機関・団体によつて構成され、公園内に設置されている営農支援センターを十分生かして、基幹作物の生産維持と、新規作物の開発に取り組んで欲しい。また、公社への町職員派遣や、多額の負担金を出している状況から、今後は企業としての経営努力、健全化が図られるよう町の指導を願いたい。公社に対しての財政負担の軽減について伺いたい。

答 財政的な負担軽減は、まず一番に、公社としての経営努力すべき問題もある。

町職員派遣については今後、公社として独自に経営できるまで指導していきたい。

農政課長



農業公園アグリピア

問 農業公社が事業主体として取り組んでいる新規就農者拡大促進事業見通しについて伺いたい。

答 農業研修生として昨年から引き続き一名と、今年度四名の採用とで五名が研修を受けている。その中で、四名の研修生が国の事業の関係で、一年間に150万円の支援事業の対象となっている。

農政課長

問 集落営農、高収益野菜の開発研究を求めぬ。

答 選択肢の一つ、今後の検討課題としたい。

高野町長



日野 明勅議員

問 難航しているTPPの問題は、日本の優位性はなく、各国は日本を大きな市場と見ており農業分野では大きな危機と捉えることが妥当である。

町は今後の農業の方向性を考えなければならぬ大切な時期にきている。

主産の久万高原清流米は、昨年557名で310ヘクタール生産しているが、実質生産者ははるかに少なく、高齢化が進み今後の現状維持は困難な状況にある。

また、特産品のトマト、ピーマン等は各地と今後一段と競争が激しくなってくる。これから何をすべきか二点提案する。



第一に、耕作放棄地やその可能性の高いところを集約し、町主体の公営企業団地を造成し、集落営農のような複合農業団体の育成をすべきだと思う。

また、高原野菜に関心のある企業誘致にも図り、若者の働く場を提供されてはどうか。

答 公営企業団地の造成については、新規就農者の農地確保対策

の上では、公益での農地団地の造成も選択肢の一つの方法化とも考えますが、企業等が若者を採用するにしても若者がいない。働く人がいないという問題がある。

高野町長

問 高原地ゆえの収益性の高い露地野菜の開発研究が不可欠であり、東京市場等に近い長野県、岐阜県など寒冷地農業の先進地を視察してはどうか。

答 寒冷地の長野県、岐阜県は久万高原町と気候が似ており、私たちが研究するだけでなく、実際に農業に従事している人を募集し研究してはと思う。

高野町長

問 耕地の限られた久万高原町では例えば養護老人ホームや病院と連携した特殊野菜を栽培してはどうか。

農業公社で試験栽培し、高級野菜として集荷してはどうか。

答 農業公園では、いろいろな野菜の栽培等研究しているが、特に冬場には、アイスプラントとか栽培している。

農政課長

問 当町の限られた土地では、新規就農者も大事ですが、高齢化社会の中、お年寄りが少しでもお金になる、特殊野菜の研究組織を立ち上げて頂きたい。

答 営農センターで担い手、栽培関係取り組んでおり、特殊野菜等も、今後の検討課題として研究して行きたい。

農政課長



農業公園アイスプラント

産業建設常任委員会

議案第94号 平成26年度久万高原

町一般会計補正予算(第1号)

円

財政調整基金の繰入金5589万

歳入歳出ともに1億8117万3

前年度繰越金4211万9千円

千円が追加され総額は、88億429

万8千円 前年同期比0.15%減

歳入

配食サービス事業費負担金など分

担金及び負担金372万円

農林水産業費では、棚田地区保全

整備事業や林道梅ヶ谷永子線改良工

事3635万円

地域活性化・効果実感臨時交付金

などこの国庫支出金1351万5千

土木費では路面整備業務委託料

597万2千円

介護基盤緊急整備等事業費補助金

など県支出金1086万円

災害復旧費では、林道崩土除去業

務委託料881万4千円

柳谷地区教育後援会解散に伴う寄

附など寄附金が5196万1千円

企画観光課

委員 パン工房の職人の処遇についての質疑があった。

理事者 2年契約で月額32万円の委託料を支払っている。

委員 3年後の指定管理について、考え方の質疑があった。

理事者 仮称ではあるが「道の駅運営協議会」の中で検討していく。

委員 オープン以来盛況の中で、職員の健康管理について質疑があった。

理事者 最初はハードで不安もあったが、現在は落ち着いている。

委員 集配車の購入について、早期に購入すべきではないかとの質疑があった。



集配車

理事者 電源立地の交付金が該当しなくなったため現在内部で検討している。現在是对応できているが、運搬量が増えると予想されるので、財源確保の目処が立てば購入したい。

農政課

委員 高齢化が進む農業経営者協議会活動費の助成についての質疑があった。

理事者 現在町も6万円助成しているが中心な組織であり協力していきたい。

委員 以前研修生の借地の問題についての質疑があった。



研修生ハウス

理事者 1件は離農し、1件は栽培を見合せている。



媛っこ地鶏

委員 農地の保全について、小規模農家への助成を検討していただきたい。今年から始まった媛っこ地鶏飼育事業は、成功させていたいただきたいの意見があった。

森林林業課

委員 施業関係や市場の出荷受入れ状況などの質疑があった。

理事者 施業技術向上のため業者の研修を行っている。市場については、契約販売などで改善されているが、そのほかの流通体制について検討している。



木材市場

建設課

委員 3月議会の補正などの発注時期について質疑があった。

理事者 繰越については全て発注し、新年度予算は内示等の関係もあるが、できるだけ早く発注していきたい。

議案第96号 平成26年度久万高原町凶荒予備事業特別会計補正予算(第1号)

予算の補正額、歳入歳出それぞれ100万円が追加され総額1121万2千円

歳入

神戸市在住、竹中氏からの寄附

歳出

凶荒予備基金積立金 100万円

審議した結果、全員一致で「原案のとおり可決すべきもの。」と決定した。

総務文教厚生常任委員会

議案第91号 久万高原町子どもの成長応援基金条例の制定について

この条例は、財団法人柳谷教育後援会及び西谷教育後援会の解散に伴い、両法人から町が寄附をうけとることとなり、基金を設置し管理を行うための条例制定である。

委員 具体的な用途について質疑があった。

理事者 検討中ではあるが子供たちの体験学習などに使っていきたい。

委員 貴重なお金であるので柔軟な発想で有効に使っていただきたい旨の意見があった。

議案第94号 平成26年度久万高原町一般会計補正予算(第1号)について

本委員会関係の歳出の主なもの
人事異動による職員人件費の増減
基幹系電算システム委託業者変更に伴う、データ抽出業務委託料

5589万円
新たな契約に要する保守料などの費用 733万9千円

民生費の久万安心館グループホームへの消防設備整備補助金 451万8千円



久万安心館グループホーム

国民健康保険診療所事業特別会計
繰出し金461万1千円の減

子どもの成長応援基金 5160万1千円

美川学校給食センターのボイラー
更新費用190万円



美川給食センター

委員 美川支所の改修や各支所の将来構想について質疑があった。

総務課



美川支所

理事者 美川支所2階の多目的トイレ改修は社協の移転に伴うもの、1階の改修は事務所機能の充実である。又、支所等の今後については、検討委員会を立ち上げ早急に対応していきたい。

保健福祉課

委員 配食サービスの利用状況等について質疑があった。



美川保健センター

理事者 25年度実績は延べ622名
今回川下で10人の利用希望者があり
実施の運びとなった。弁当の内容に
ついてはアセスメント表をとりなが
ら提供していきたい。

委員 費用が増えることも予想さ
れるので、コンビニエンスストアな
ど民間業者での利用を検討してはど
うかとの意見があった。

消防署

委員 ヘリポートの設置事業につ
いて質疑があった。

理事者 希望があれば整備してい
きたい。

委員 消防署員の火災時の出動手
当特殊勤務手当改善の検討について
意見があった。



中久保ヘリポート

教育委員会

委員 仕七川小学校校舎建築の進
捗状況について質疑があった。



仕七川小学校

理事者 順調に進んでいるので、
7月末までには全て完了予定であ
る。

**議案第95号 平成26年度久万高原
町国民健康保険診療所事業特別会計
補正予算(第1号)**

予算の補正額は、歳入歳出それ
ぞれから、467万1千円減額さ
れ、総額は9844万7千円

歳入

一般会計繰入金467万1千円
の減

歳出

面河診療所の人件費などの費用
467万1千円の減

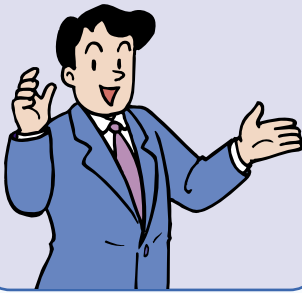


面河診療所

審議した結果、全員一致で「原
案のとおり可決すべきもの。」と決
定した。

4 質疑

議案に対して議員が質疑を行い提出者が答弁



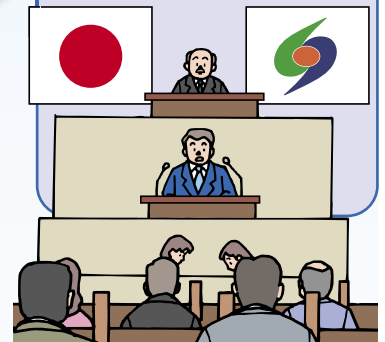
5 討論・表決

議案などに対する賛成・反対の意見（討論）が述べられた後表決（議会として決定）



6 閉会

すべての案件が議了した後閉会



委員会付託

直ちに決める案件もあるが、数多く広範囲にわたっているため所管の委員会に付託

委員会審査

委員会では、本会議場で付託された議案や請願、陳情について詳細に審査。提案説明、質疑、討論が行われ委員会としての賛成、反対を決定

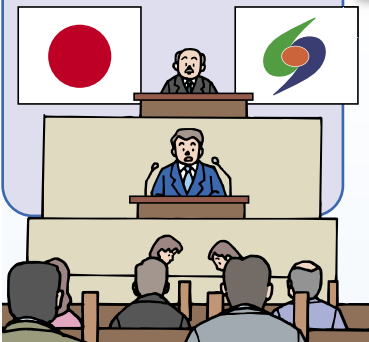
※ 久万高原町における委員会は、総務文教厚生常任委員会と産業建設常任委員会のふたつです。各々が担当課、特別会計、企業会計の案件について審査する他、町政全般についても話し合います。

◆議会審議の流れ◆

「議会だより」では可決した予算の内容、一般質問、常任委員会等についてお知らせしていますが、今回は議会でどのような過程で案件が審議されるのか簡単にご紹介します。

1 開会

告示により町長が招集。原則として議員定数の半数以上の出席が必要



開会
宣言

行政
報告



議長



町長

2 一般質問

町政全般について通告した議員が議案や町の仕事について質問し、町長（執行機関）が答弁



6月質問議員



山之内議員



上岡議員



日野議員



中川議員

3 提案説明

提出された議案の内容と提案理由について提案者が説明



担当課長



高橋総務課長
他

議会運営委員会

議会が始まる前に必ず開かれるのが「議会運営委員会」です。この委員会では、日程、一般質問、請願、議案、報告等について話し合います。必要な場合は、議会前に議員全員での全員協議会等を開き議案について説明を求めるなどして本会議に備えます。

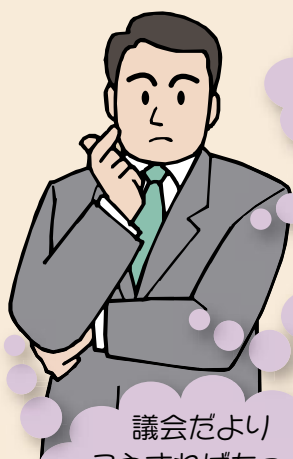
議会を傍聴しませんか?!

9月定例会(予定) 9月12日(金) 開会日・一般質問等
9月16日(火) 総務文教厚生常任委員会
産業建設常任委員会
9月19日(金) 閉会日

▶ 本会議も常任委員会も傍聴できます! ◀

問い合わせ先 久万高原町議会事務局 TEL・FAX0892-21-0134

議会だより・議会報告会についてのご意見ありませんか?



議会だよりに
○○なコーナーが
あればなあ～

議会報告会で
あんな事
聞きたいなあ～

議会だより
こつすればもっと
見やすいのに!

「議会だより」も「議会報告会」も住民の皆様に議会をもっと身近に感じていただき、その声を議会活動に生かすべく発刊、開催しているものです。皆様のご意見・ご指導をよろしくお願いいたします。

ご意見等の送付先(郵便又はFAX)

久万高原町 議会事務局 宛
住所 久万高原町久万188
FAX 0892-21-0134

※ご意見等には御住所、御氏名を明記してください。

編集後記

去る7月10日11日に第80回町村議会広報研修会に参加させていただきました。

編集会議の中でも研修会で得た知識や全国の優秀賞をとった広報を意識した発言も見受けられるようになりました。

まだまだ満足はいく広報にはほど遠く、締め切りの日に追われたのが現状ですが、とにかく、住民の皆様
に納得していただく「議会だより」目指してがんばりますので、ご指導よろしくお願いたします。

(中野)

久万高原町議会だより 第2号 平成26年8月19日

発行/久万高原町議会
愛媛県上浮穴郡久万高原町久万188
発行責任者/町議会議長 瀧野 志

編集/議会広報特別委員会
TEL0892(21)0134 FAX0892(21)0134
印刷/明星印刷工業株式会社